

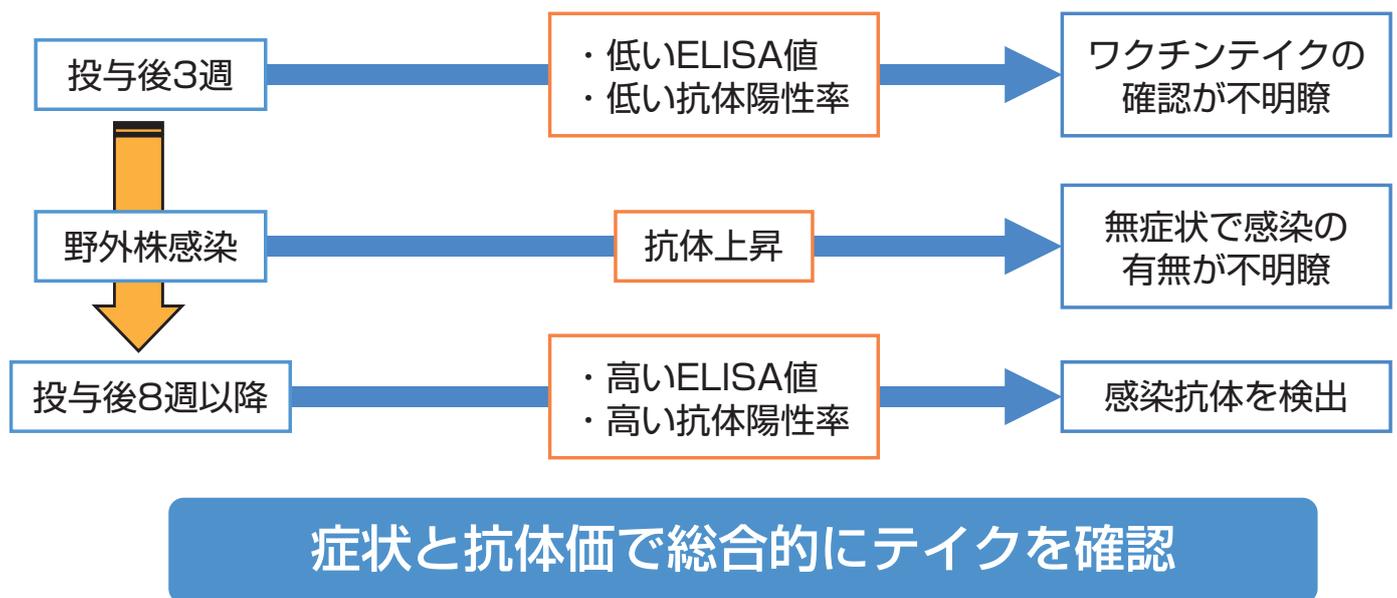
鶏コクシジウム（アイメリア・ネカトリックス）ELISAによる抗体の検出について（2）

前号では、鶏コクシジウム(アイメリア・ネカトリックス)ELISAで検出される抗体及びその抗体の推移についてご紹介しました。今号では、得られた成績の読み取り方について解説致します。

－ELISA値 0.4以上を陽性と判定－

日生研株式会社の検査室で実施しているELISAは、田嶋ら(Avian Diseases 2003,47:309 -318)が報告している手法で実施しています。このELISAでは、ワクチン投与後に検査した鶏群のピーク時の平均ELISA値が0.4以上の場合に鶏群全体を陽性と判定します。これは、ワクチンテイクした場合でも、個体によっては抗体上昇を認めないケースがあるからです。また、実験室内試験で得られたデータを元に行っていることから、野外鶏での抗体の動きとは若干ズレが生じてしまい、成績を読み取りにくくなることがあります。概ねベースは同じであり、ELISAによってワクチンテイクを確認することに問題はありますが、これまでに得られた野外データを見る限りは、下図に示すような問題が見えてきました。

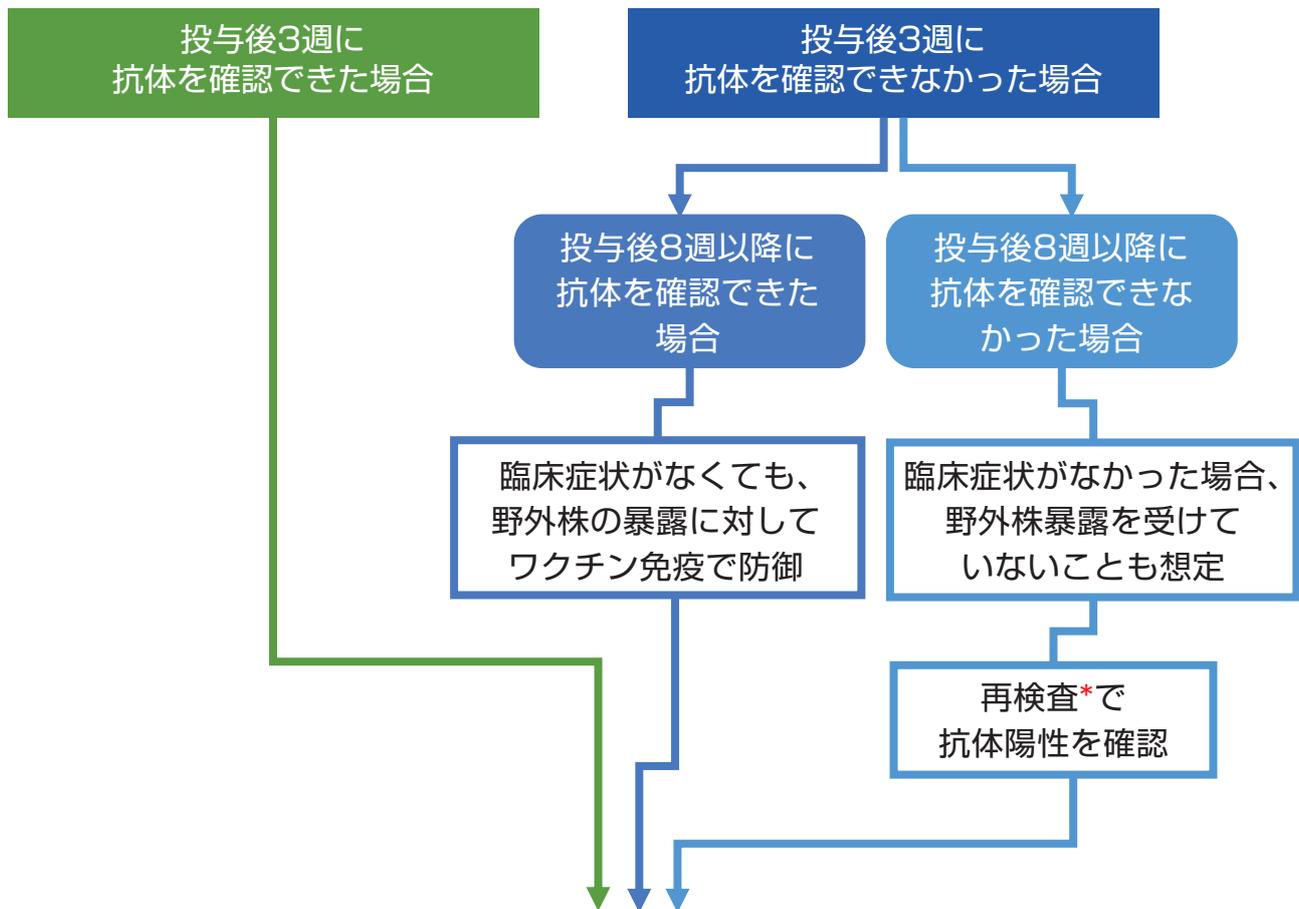
－ワクチンテイク確認と抗体検査時期における問題点－



ーELISA用血清の採血時期についてー

ワクチンテイク確認を確実にするために、投与後3週及び投与後8週前後に採血した複数羽(10羽程度)の血清を用いた検査をお勧めします。

ーワクチンテイク確認のフローチャートー



成鶏期並びに産卵期における
アイメリア・ネカトリクス感染による発症を抑制

*抗体検査時期が遅かった場合、感染抗体が低下したことも推察されるため再検査が必要

日生研鶏コクシ弱毒生ワクチン(Neca)のワクチンテイクは
ELISA抗体と臨床症状によって総合的に判断